

大宮図書館 ドキュメンタリー カフェ

番組上映 + ディスカッション



岡田 朋敏 ディレクター



略歴

NHK仙台放送局シニアディレクター。東京大学理学部物理学科卒、学術修士(素粒子理論)。1997年入局、報道局社会番組部、大型企画開発センターなどでクローズアップ現代、NHKスペシャルを担当し、立花隆さんとは「サイボーグ技術」「がん」「臨死体験」など4本のNHKスペシャルを含む17本の番組を制作した。その他「Google革命の衝撃」「神の教式」「吉永小百合」「原発マネー」など制作。2021年7月から現職。

NHKスペシャル (初回放送日: 2022年4月30日)

「見えた何が永遠が ～立花隆 最後の旅～」

「知の巨人」と呼ばれ、2021年4月30日に亡くなったジャーナリストの立花隆さん。

死の直前「遺体はごみとして捨ててほしい。自分が残した書籍や資料は古本屋でさばいてほしい」と言い残していた。立花さんは、なぜ全てを「無」にすることを選んだのか。17年にわたり立花さん取材してきたディレクターに、遺族から段ボール100個分の資料(田中角栄研究などの取材資料、様々な著作の生原稿、講演や講義の録音テープやビデオ等)が託された。それらを読み進めていくとあらゆる知の領域を渡り歩いた立花さんが、最後に「人間存在とは何か」という命題に達し、その先の「死とはいったい何なのか」を突き詰めようとする姿が見えてきた。番組では、立花さんの思索を辿り、関係者を国内外で徹底取材する。立花さんが最期の旅の末に到達した、「死生観の境地」を探し求めていく。

私たちは今後も、立花さんが遺した資料を活用して情報発信していきます。

制作者：岡田朋敏ディレクター(メイン会場)と共に、参加者皆さんで感想を出し合います。

2023.1.28 [土]

[日 時] 15:00 - 17:00

メイン会場の文京区小石川図書館を起点に、リモートで3会場を繋いで行う、ハイブリッド形式のディスカッショントークイベントです。

【会場】 大宮図書館1階 研修室

【対象】 中学生以上 (番組を観て感想をお話しできる方ならどなたでも)

【定員】 30名(先着順)

【申込み】 1月14日(土) 9:00から電話または直接図書館まで

マスク着用を推奨いたします。

メイン会場

文京区小石川図書館

サテライト会場

さいたま市立大宮図書館

TRC八千代中央図書館

大和市文化創造拠点シリウス

大宮図書館
Twitter



大宮図書館
ホームページ



さいたま市立大宮図書館

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124-1 電話番号: 048-643-3701 FAX: 048-648-8460